



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月31日

上場会社名 株式会社 シーティーエス 上場取引所 東  
コード番号 4345 URL <https://www.cts-h.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横島 泰蔵  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 北原 巻雄 TEL 0268-26-3700  
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	8,243	1.1	2,132	7.2	2,122	4.4	1,424	10.1
2023年3月期第3四半期	8,152	2.5	1,990	0.7	2,033	6.3	1,294	△1.2

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,756百万円 (35.8%) 2023年3月期第3四半期 1,293百万円 (△2.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	33.62	—
2023年3月期第3四半期	30.54	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	15,684	11,427	72.9
2023年3月期	14,741	10,582	71.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 11,427百万円 2023年3月期 10,582百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	10.50	—	11.50	22.00
2024年3月期	—	10.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	12.50	22.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

- ・配当予想の修正については、本日（2024年1月31日）公表いたしました「配当政策の変更及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。
- ・2023年3月期第2四半期末配当の内訳 1株当たり10円50銭（普通配当 8円00銭 記念配当 2円50銭）
- ・2023年3月期期末配当の内訳 1株当たり11円50銭（普通配当 9円00銭 記念配当 2円50銭）

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	1.9	2,800	4.0	2,770	1.8	1,930	9.7	45.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2024年1月31日）公表いたしました「2024年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	43,400,000株	2023年3月期	43,400,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,020,845株	2023年3月期	1,020,845株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	42,379,155株	2023年3月期3Q	42,379,155株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 5「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年12月31日）の当社グループの主要顧客である土木・建築業界を取り巻く環境に関し、公共投資については、引き続き国土強靱化計画に基づく防災対策等の対応もあり、底堅く推移しているものの、足元の公共工事は勢いを欠いている状況です。また、民間投資については、概ね堅調に推移しました。他方で、今後ますます建設現場における人材不足、資材価格高騰等の影響が強まると考えられ、予断を許さない状況が続いております。

こうした状況において、当社グループでは新たな付加価値の創出を目指し、2024年3月期から2026年3月期までの3ヵ年を対象とした中期経営計画を策定いたしました。当社グループでは従来、建設業・建設現場を主要顧客として、主に建設現場を支援する商品・サービスの開発と提供に努めてまいりました。近年では建設ICTの専門企業として、特にハードレンタルを主としたITインフラ環境の構築支援を積極的に展開してまいりました。しかし、今後においてはハードレンタルを主としたビジネスから脱却し、建設現場の業務支援に特化してデータ・情報関連サービスを統合的に提供していくことにより付加価値を創出するビジネスへと事業転換を図ってまいります。その中核がDDS事業において統合的なサービス体系として開発・強化を進めている「サイトアシストサービス」です。「サイトアシストサービス」では、当社が建設現場向けに提供している各種ICTサービス（「クラウドストレージサービス」・「クラウド映像サービス」・「コミュニケーションサービス」・「通信・ネットワークサービス」・「プリンティングサービス」）を統合的に提供していくことで、建設業界における現場の見える化及び情報・データの利活用の推進を強力に支援してまいります。

こうした考えに基づき、本中期経営計画期間を、個別商品・サービスのレンタルではなく、「サイトアシストサービス」により、情報・データに基づく付加価値を提供していく企業へ姿を変えるための移行期間ととらえ、次の通り中期経営方針及び目標を定め、活動してまいります。

#### <中期経営方針>

『ハードを主体としたITインフラのレンタル企業』から、『データ・情報関連サービスを統合的に提供し（サイトアシスト）、建設現場の業務を支援する建設ICTの専門企業』へ変身する

どこへ

- ・地場ゼネコンから広域ゼネコンへターゲット拡大
- ・土木系から建築系へ対象顧客の業種拡大

何を

- ・ハード主体のITインフラサービスからデータ・情報関連が中心のデジタルデータサービスへ（サイトアシストサービス）

どのように

- ・マーケティング・インサイドセールス機能の強化
- ・DDS事業により、効率的に顧客開拓・顧客基盤の構築を推進

#### <中期経営目標>

・売上高	140億円（2023年3月期対比 30%超）
・営業利益	36億円（2023年3月期対比 30%超）
・営業利益率	25%超
・ROE	20%超
・リピート率（※）	90%超

※リピート率は、直接的なユーザーである現場代理人を対象に、下記の計算式で算出しております。

$$\text{リピート率} = \frac{\text{前期取引があり、かつ当期取引があった現場代理人数}}{\text{前期取引があった現場代理人数}}$$

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、DDS事業の商品・サービスの営業に注力した結果、既存顧客を中心に受注が堅調に推移し、売上高は8,243百万円（前年同期比1.1%増）となりました。利益面では、付加価値の高いDDS事業のレンタル・サブスクリプションサービスの売上高が堅調に推移したことから、売上総利益が4,268百万円（前年同期比5.0%増）となりました。また、販売費及び一般管理費は、主に処遇改善等による人件費の増加に加え、マーケティング活動を含む営業活動費用が増加したこと等により、2,135百万円（前年同期比3.0%増）となりましたが、売上総利益の増加が大きく、営業利益は2,132百万円（前年同期比7.2%増）となりました。その結果、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益においても前年同期を上回る実績となりました。

また、リピート率につきましては、クラウドストレージサービス等のサブスクリプションサービスの提供拡大及び現場単位取引の法人契約化（BtoB取引化）の増加により、68.7%（前年同期比0.7pt増）となりました。

※リピート率の計算に関して、分子である「前期取引があり、かつ当期取引があった現場代理人数」につきましては当期累計実績を参照しているのに対して、分母である「前期取引があった現場代理人数」につきましては、前年通期の実績を参照しておりますので、リピート率は経過とともに高まっていく見込みです。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の実績は、下記表のとおりとなりました。

## ▼当社グループ

(単位：百万円、%)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	前年同期比
売上高	8,152	8,243	1.1
営業利益	1,990	2,132	7.2
営業利益率	24.4	25.9	1.5pt
経常利益	2,033	2,122	4.4
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,294	1,424	10.1

## ▼主要KPI

(単位：%)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	前年同期比
リピート率	68.0	68.7	0.7pt

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

<DDS事業 (デジタルデータサービス事業 : Digital Data Service) >

当事業につきましては、「クラウドストレージサービス」・「クラウド映像サービス」・「コミュニケーションサービス」・「通信・ネットワークサービス」・「プリンティングサービス」等について統合的な提案活動に注力してまいりました。また、「サイトアシストサービス」につきましては、活用ツールの開発・メニューの充実と営業人材の育成に努めてまいりました。現状では機能の完成度・営業人材の教育進捗とも満足いく状況ではないものの、部分的ながらサービス提案を開始するにいたりました。実際の導入状況では、現場支援室の設置等、新たな仕事の進め方を模索する中において「サイトアシストサービス」の提案内容は一定の評価を得ており、今後は利用シーンの増加が期待されます。こうした状況の中、収益面では主に統合的なサービス提案に基づく既存顧客からの受注が堅調に推移し、当事業の売上高は4,760百万円 (前年同期比11.5%増) となりました。利益面は、「クラウドストレージサービス」「クラウド映像サービス」をはじめとしたレンタル・サブスクリプションサービスの売上高伸長により売上総利益が増加しました。また、営業・マーケティング活動費用の増加に加え、デジタル機器管理センターの体制強化に伴う人件費の増加等により、販売費及び一般管理費も増加いたしました。売上総利益の増加が大きく、セグメント利益 (営業利益) は1,466百万円 (前年同期比13.1%増) となりました。

<SMS事業 (測量計測システム事業 : Surveying Measurement System) >

当事業につきましては、中期経営計画に基づき、既存顧客及びDDS事業の商品・サービスによる新規顧客をターゲットに、レンタルによる測量計測システム等の提案を行ってまいりました。測量機器等については、メンテナンスなどの維持コスト、利用頻度、環境負荷等を踏まえると、レンタルの利便性が高いことから、レンタルによる利用の普及を進めるとともに、効率的な営業活動に努めてまいりました。併せて測量機器販売エリアの縮小・ICT施工関連のレンタル商材の絞り込み等を行い、DDS事業へリソースをシフトしてまいりました。その結果、反動による売上高の減少が想定以上に大きく、当事業の売上高は2,407百万円 (前年同期比13.5%減) となりました。利益面は、処遇改善等により人件費が増加した一方、レンタルを主とした業務の絞り込みによる管理コストの削減・営業活動の効率化等が寄与したことにより、販売費及び一般管理費は減少いたしました。売上高の減少を補えず、セグメント利益 (営業利益) は414百万円 (前年同期比17.0%減) となりました。

<その他 (※) >

その他につきましては、売上高は1,075百万円 (前年同期比2.4%減) となりました。セグメント利益 (営業利益) は252百万円 (前年同期比29.5%増) となりました。

▼セグメント

(単位：百万円、%)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	前年同期比
DDS事業			
売上高	4,268	4,760	11.5
セグメント利益	1,296	1,466	13.1
セグメント利益率	30.4	30.8	0.4pt
SMS事業			
売上高	2,782	2,407	△13.5
セグメント利益	499	414	△17.0
セグメント利益率	17.9	17.2	△0.7pt
その他 (※)			
売上高	1,102	1,075	△2.4
セグメント利益	194	252	29.5
セグメント利益率	17.7	23.5	5.8pt

※SH事業につきましては、2024年3月期から2026年3月期までの3ヵ年を対象とした中期経営計画より、DDS事業への注力に伴う重要性の低下を想定し、「当四半期決算に関する定性的情報」のセグメント上「その他」へ変更いたしました。その結果、「その他」はSH事業、道路標示及び標識の工事等が含まれております。

## （2）財政状態に関する説明

## （資産）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は15,684百万円となり、前連結会計年度末と比較して942百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が510百万円増加したことによるものであります。

## （負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債は4,256百万円となり、前連結会計年度末と比較して97百万円増加いたしました。これは主に未払法人税等が271百万円減少した一方で、その他流動負債が379百万円増加したことによるものであります。

## （純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は11,427百万円となり、前連結会計年度末と比較して845百万円増加いたしました。これは主に剰余金の配当911百万円を行った一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益1,424百万円の計上、その他有価証券評価差額金が331百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は72.9%となりました。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績の進捗状況を勘案し、2023年4月28日公表の2024年3月期連結業績予想及び期末配当予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2024年1月31日）公表の「2024年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」及び「配当政策の変更及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

2024年3月期連結業績予想の修正及び期末配当予想の修正は、下記表のとおりとなります。

## ▼2024年3月期連結業績予想値の修正（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A） （2023年4月28日発表）	百万円 11,500	百万円 2,800	百万円 2,770	百万円 1,930	円 銭 45.54
今回修正予想（B）	11,000	2,800	2,770	1,930	45.54
増減額（B－A）	△500	－	－	－	－
増減率（%）	△4.3	－	－	－	－
（参考）前期連結実績 （2023年3月期）	10,797	2,691	2,722	1,758	41.51

## ▼期末配当予想値の修正

基準日	1株当たり配当金		
	中間	期末	合計
前回発表予想（A） （2023年4月28日発表）	円 銭 －	円 銭 10.00 （普通配当 10.00）	円 銭 20.00 （普通配当 20.00）
今回修正予想（B）	－	12.50 （普通配当 12.50）	22.50 （普通配当 22.50）
増減額（B－A）	－	2.50	2.50
当期実績	10.00 （普通配当 10.00）	－	－
前期実績 （2023年3月期）	10.50 （普通配当 8.00） （記念配当 2.50）	11.50 （普通配当 9.00） （記念配当 2.50）	22.00 （普通配当 17.00） （記念配当 5.00）

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,272	6,242
受取手形及び売掛金	1,672	1,663
棚卸資産	366	315
その他	401	603
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	8,710	8,822
固定資産		
有形固定資産		
リース資産(純額)	1,916	1,912
その他(純額)	1,754	1,823
有形固定資産合計	3,671	3,736
無形固定資産	113	157
投資その他の資産		
投資有価証券	2,140	2,651
その他	112	325
貸倒引当金	△7	△8
投資その他の資産合計	2,245	2,968
固定資産合計	6,031	6,861
資産合計	14,741	15,684
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	481	358
未払法人税等	499	227
その他	1,764	2,143
流動負債合計	2,745	2,730
固定負債		
リース債務	1,183	1,141
その他	230	385
固定負債合計	1,413	1,526
負債合計	4,159	4,256
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,000	3,000
利益剰余金	8,159	8,673
自己株式	△722	△722
株主資本合計	10,437	10,951
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	144	476
その他の包括利益累計額合計	144	476
純資産合計	10,582	11,427
負債純資産合計	14,741	15,684



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	8,152	8,243
売上原価	4,088	3,975
売上総利益	4,063	4,268
販売費及び一般管理費	2,073	2,135
営業利益	1,990	2,132
営業外収益		
受取配当金	106	107
投資有価証券売却益	182	—
その他	5	10
営業外収益合計	294	118
営業外費用		
支払利息	37	32
持分法による投資損失	196	89
租税公課	18	—
その他	—	7
営業外費用合計	251	128
経常利益	2,033	2,122
特別損失		
投資有価証券評価損	60	—
特別損失合計	60	—
税金等調整前四半期純利益	1,973	2,122
法人税、住民税及び事業税	669	683
法人税等調整額	9	14
法人税等合計	679	697
四半期純利益	1,294	1,424
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,294	1,424

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,294	1,424
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	331
その他の包括利益合計	△0	331
四半期包括利益	1,293	1,756
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,293	1,756
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## I 前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	DDS 事業	SMS 事業	SH事業	計				
売上高								
顧客との契約から生 じる収益	1,981	1,860	41	3,883	280	4,163	—	4,163
その他の収益 (注) 3	2,286	922	776	3,985	3	3,988	—	3,988
外部顧客への売上高	4,268	2,782	818	7,868	283	8,152	—	8,152
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	4,268	2,782	818	7,868	283	8,152	—	8,152
セグメント利益	1,296	499	150	1,946	44	1,990	—	1,990

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、道路標示及び標識の工事等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他の収益」には、「リース取引に関する会計基準」に基づき認識したレンタル収益が含まれております。

## II 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	DDS 事業	SMS 事業	SH事業	計				
売上高								
顧客との契約から生 じる収益	2,090	1,520	38	3,648	262	3,911	—	3,911
その他の収益 (注) 3	2,669	887	775	4,332	0	4,332	—	4,332
外部顧客への売上高	4,760	2,407	813	7,981	262	8,243	—	8,243
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	4,760	2,407	813	7,981	262	8,243	—	8,243
セグメント利益	1,466	414	193	2,074	58	2,132	—	2,132

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、道路標示及び標識の工事等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他の収益」には、「リース取引に関する会計基準」に基づき認識したレンタル収益が含まれております。